

8F35 · 8F58

## 目次

|   |    |
|---|----|
| 1. ご使用の前に必ずお読みいただきたいこと .....              | 3  |
| 2. ダイビングに際しての注意事項 .....                   | 4  |
| 2-1. ダイビング前 .....                         | 4  |
| 2-2. ダイビング中 .....                         | 5  |
| 2-3. ダイビング後 .....                         | 5  |
| 3. ご使用になる前に .....                         | 6  |
| 4. 特長 .....                               | 7  |
| 5. 製品の説明 .....                            | 8  |
| 5-1. 各部の名称とはたらき .....                     | 8  |
| 5-2. 時刻・日付の合わせかた .....                    | 10 |
| 5-3. 時刻の合わせかた (8F58) .....                | 12 |
| 5-4. 日付の合わせかた (8F58) .....                | 16 |
| 5-5. カレンダー (うるう年からの年数・月・日付) の確認のしかた ..... | 17 |
| 5-6. 時差修正の使いかた (8F58) .....               | 20 |

|                         |    |
|-------------------------|----|
| 5-7. 都市と時差の比較表 .....    | 22 |
| 5-8. 回転ベゼルの使いかた .....   | 23 |
| 6. 使用上の注意とお手入れの方法 ..... | 24 |
| 7. うるう秒について .....       | 27 |
| 8. ルミプライトについて .....     | 28 |
| 9. バンドの伸展機構について .....   | 29 |
| 10. 電池についてお願いとご注意 ..... | 31 |
| 11. 電池交換時期のめやす .....    | 35 |
| 12. こんな時には .....        | 36 |
| 13. アフターサービスについて .....  | 37 |
| 14. 補修用性能部品について .....   | 37 |
| 15. 製品仕様 .....          | 38 |

## 1. ご使用の前に必ずお読みいただきたいこと

### 警告

- ・本取扱説明書で指示された操作以外は絶対にしないでください。
- ・ヘリウムガスを使用する「飽和潜水」には絶対に使用しないでください。  
(空気ポンペを使用する潜水用)

### 注意

- ・ダイバーズウォッチのご使用にあたっては、各種のダイビングに関する安全教育やトレーニングを受け、それに従ったルールを守ってご使用ください。
- ・この時計を実際のダイビングに使用される時には、毎回のご使用前に正しく作動しているか、点検をしていただくと共に、使用中の注意については操作方法の項目に記載されている注意事項をよくお読みください。

## 2. ダイビングに際しての注意事項 ※必ずお読みください

この項目では、ダイビングの前、中、後での注意事項を記述してあります。それぞれの注意事項を守り、より安全なダイビングを心がけてください。

### 2-1. ダイビング前

次の項目を点検してください。

②バンド、ガラスにヒビ、カケ等の異常がないこと。

※潜水前に秒針が「一度に2目盛り送られていないか？」確認してからご使用ください。

④時刻・カレンダーが正確にセットされていること。

①リュウズのネジがしっかりと締めてあること。

⑤回転ベゼルが正常に回転できること。  
(時計と逆回りが正常な回転方向です。)

③バンドと本体がしっかりと固定されていること。  
(パネ棒、止め金等)

※これらに異常が認められる場合は、ダイビングには使用しないでください。

## 2-2. ダイビング中

- ①岩などの硬いものにはぶつけないように注意してください。
- ②水中でリュウズのネジロックをゆるめることや、リュウズを引き出すことは絶対にしないでください。
- ③回転ベゼルは水の中ではやや回転がきつくなることがありますが異常ではありません。

## 2-3. ダイビング後

- ①時計に付着した泥、砂、海水等はリュウズがしっかり締めてあるか確認の上、真水でよく洗い流してください。
- ②時計を洗ったあとは乾いた布等で水分を完全にふいてください。
- ③汚れ等が洗い流せない場合は、お買い上げ店、またはセイコー取扱店にご相談ください。
- ④時計本体がガソリン・アルコール等の薬品に触れると、故障の原因になりますのでご注意ください。
- ⑤一般的なお手入れに関しては、「6. 使用上のご注意とお手入れの方法」を参照してください。

### 3. ご使用になる前に

この時計は、内部にカレンダー（うるう年からの年数、月、日付）を記憶しており、月末の日付（うるう年を含め、小の月の日付）修正を自動的に行い、お客様がその度に修正される必要が無いようになっています。ご使用になる前に、現在時刻に合わせてからご使用ください。

「5-2. 時刻・日付の合わせかた」の項をご参照ください。

## 4. 特長

この時計は、うるう年を含めた大の月、小の月を判別し、自動的に月末の日付を修正するパーペチュアルカレンダー機能を搭載した時計です。

2100年2月28日まで、カレンダーを修正する必要がありません。

キャリバー8F58は、24時間表示機能、時差修正機能がついております。ローカルタイム表示として、また海外旅行中などの時差修正とホームタイム表示としてもご使用できます。

- ・パーペチュアルカレンダー機能

フルオートカレンダー機能のことをSEIKOでは、「パーペチュアルカレンダー」と呼んでいます。

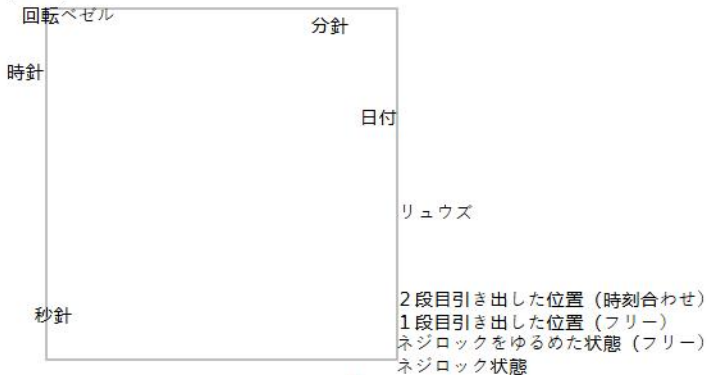
うるう年を含めた大の月、小の月を判別し、自動的に月末の日付を修正します。2月が29日である年が、うるう年です。

- ・時差修正機能 (8F58)

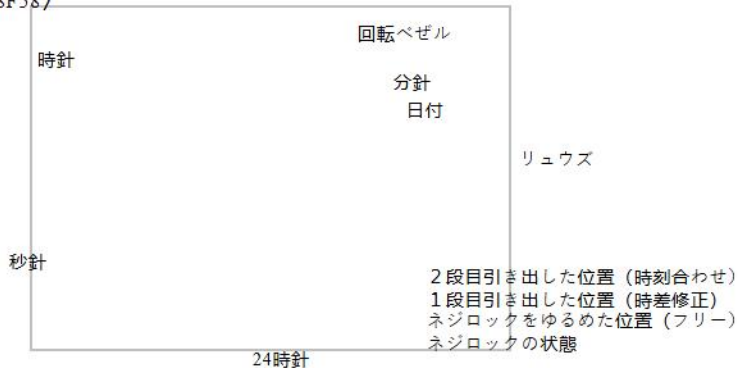
時計の分針、秒針を止めずに簡単な操作で時針だけを1時間単位で修正することができます。

## 5. 製品説明

### 5-1. 各部の名称とはたらき (8F35)



<8F58>



※リュウズを「0段目→1段目→0段目」でカレンダーデータの確認ができます。

※この時計は、リュウズを1段目、および2段目の引き出し状態で放置しないでください。(電池寿命が短くなります。)

## 5-2. 時刻・日付の合わせかた〈8F35の場合〉

- 通常は、工場出荷時点でカレンダー（うるう年からの年数・月・日付）が正しく設定されていますので、お客様はカレンダー（うるう年からの年数・月・日付）を改めて設定される必要はありませんが、万一、日付が正しく表示されない場合は、「5-5. カレンダー（うるう年からの年数・月・日付）の確認のしかた」をご参照の上、カレンダーを確認してください。
  - 日付は、時刻に連動しており、時計の運針状態、リュウズ操作による時刻合わせ状態のどちらでも24時間に1度切り替わります。日にちをまたいで時刻を進めると日付も進み、時刻を戻すと日付も戻ります。
  - ・時計の運針状態では、午前0時前後（午後11時45分～午前0時30分の間）で日付が切り替わります。
  - ・リュウズ操作による時刻合わせで、時刻を進める場合と戻す場合では日付の切り替わり時刻が異なりますが、午後9時から翌日午前3時の間で切り替わります。その後、通常運針では、通常の午前0時前後（午後11時45分～午前0時30分の間）で日付が切り替わります。
- 【午後9時から翌日午前3時の間で時刻合わせをする場合】**
- ・午前0時をはさんで、午後9時から翌日の午前3時の間で時刻を合わせるときは、時刻をいったん午後9時より前に戻して（あるいは午前3時より先に進めて）、その日付が正し

いことを確認してから時刻合わせをしてください。

- ・午後9時から翌日午前3時の間で時刻を進めたり戻したりしたとき、午前0時前後に日付が切り替わらないことがあります。午前3時をすぎれば、日付は午後9時以前の日付の翌日（＝午前3時以降の日付）に切り替わっています。また、運針状態では、日付が切り替わる時刻も、通常の運針状態の切り替わり時刻に戻ります。

①リュウズを左にまわしてネジをゆるめます。

②リュウズを2段目まで引き出します。

※秒針が止まります。秒針は12時の位置に止めてください。

③リュウズをまわして時刻を合わせます。日付が今日の日付になっていない場合は、時刻を進める。あるいは戻して今日の日付に合わせてから時刻を合わせてください。

※午前午後を間違えないように合わせてください。（日付は24時間に1度切り替わります。）午前午後を間違えて時刻合わせをすると、昼の時間に日付が切り替わってしまいますので、ご注意ください。

### 5-3. 時刻の合わせかた(8F58の場合)(24時針の使用用途に2つのタイプがあります)

この時計の24時針の使いかたには、2つのタイプがあります。そのタイプによって時刻の合わせかたが異なりますので、どんな使いかたにするか選択してから時刻合わせをしてください。

〈タイプ1〉24時針を単なる24時針(午前・午後が読める)として使用する場合。すなわち、24時間針を通常生活している地域の時刻に合わせて使う場合。

- ・普通の使いかたがこのタイプになります。
- ・たとえば、24時針を日本時間に合わせておくと、海外旅行中に旅先の時刻を時針・分針で表示しても、24時針で日本時間を見ることができ便利です。  
この時の日本時間をホームタイムと呼ぶことがあり、以下の説明ではそう表現します。

〈タイプ2〉24時針に他の地域の時刻を表示させて使用する場合。

- ・住む場所とは異なる地域の時刻(時差のある時刻)に合わせておき、24時針と時分針とでデュアルタイム表示として使用する場合にこのタイプを選びます。
- ・たとえば、24時針を世界標準時(GMT)に合わせて、時分針を日本時間に合わせると、いつでも24時針でGMTを確認できることになります。

【24時針を普通の24時針として合わせる方法】〈タイプ1での操作方法〉

- ①ネジロックモデルは、リュウズを左に回してネジロックをゆるめてください。
- ②リュウズを2段目まで引き出してください。

※秒針が止まりますので、秒針が0秒に来た時に引き出してください。

③リュウズを回し、24時針と分針に注目し現在時刻に合わせます。現在時刻の午前午後に注意して合わせます。

〈例〉午前10時0分に合わせる場合は・・・

24時針を10時位置（5時方向）に分針を0分に合わせます。

午後6時0分に合わせる場合には・・・

24時針を18時位置（9時方向）に分針を0分に合わせます。

※時針が合わせる時刻と異なる時間を示している場合がありますが、24時針と分針とで合わせてください。（時針は後から合わせます。）

※この時、時針の位置によって日付けが修正される場合がありますが、これも後で合わせられますのでご安心ください。

※合わせる時刻より4～5分進めてから逆に戻して合わせてください。

※時刻合わせは電話の時報サービスTEL117が便利です。

④時報と同時にリュウズを押し込んでください。

24時針、分針、秒針の合わせができました。

⑤時針を現在時刻に合わせます。リュウズを1段目まで引き出してください。

⑥リュウズを回し、現在時刻に合わせます。

☆日付けを合わせる場合は、ここで一緒に合わせてください。

（詳しくは「(5-4) 日付けの合わせかた」を参照）

※時刻合わせの際は、午前午後を間違いなく合わせてください。

※リュウズの回転の際、時針の1時間単位の動きを確認しながら静かに回してください。

※時針を修正している時、その他の針が少し動きますが故障ではありません。

⑦合わせ終わったらリュウズを押し込んでください。ネジロックモデルは、さらに押しつけながら右に回し、リュウズが止まるまでネジ込んでください。

このタイプでの時刻合わせができました。海外旅行中などで時針を単独に修正（時差修正）したときは、24時針がホームタイムとして機能を果たすので便利です。（「(5-6) 時差修正の使いかた」を参照）

#### 【24時針を他の地域の時刻24時針として合わせる方法】〈タイプ2での操作方法〉

〈例として24時針でGMTを表示し、時分針で日本時間を表示させる方法で説明します〉

- ①ネジロックモデルは、リュウズを左に回してネジロックをゆるめてください。
- ②リュウズを2段目まで引き出してください。  
※秒針が止まりますので、秒針が0秒に来た時に引き出してください。
- ③リュウズを回し、24時針と分針に注目し合わせたい「他の地域」の時刻に合わせてください。午前午後に注意して合わせます。時差については事前に調べておきましょう。（「(5-7) 都市と時差の比較表」を参照）

〈例〉世界標準時（GMT）に合わせる場合

日本時間午前10時0分の場合、GMTは午前1時0分になります。

24時針を午前1時に合わせる場合は、24時針を1時位置（12時と1時の間）に、分針を0分に合わせます。

※時針が合わせる時刻と異なる時間を示している場合がありますが、24時針と分針とで合わせてください。（時針は後から合わせます。）

※この時、時針の位置によって日付けが修正される場合がありますが、これも後で合わせられますので

ご安心ください。

※合わせる時刻より4~5分進めてから逆に戻して合わせてください。

④時報と同時にリュウズを押し込んでください。

24時針、分針、秒針の合わせができました。

⑤時針を現在時刻（日本時間）に合わせます。リュウズを1段目まで引き出してください。

⑥リュウズを回し、現在時刻に合わせます。

※日付けを合わせる場合は、ここで一緒に合わせてください。

（詳しくは「(5-4) 日付けの合わせかた」を参照)

※時刻合わせの際は、午前午後を間違いなく合わせてください。

※リュウズの回転の際、時針の1時間単位の動きを確認しながら静かに回してください。

※時針を修正している時、その他の針が少し動きますが故障ではありません。

⑦合わせ終わったらリュウズを押し込んでください。ネジロックモデルは、さらに押しつけながら右に回し、リュウズが止まるまでネジ込んでください。

このタイプでの時刻合わせができました。時分針で現在時刻を見ながら、24時針で特定の地域の時刻をいつでも確認でき、便利です。24時針に表示させる時刻を変更する場合は、このタイプの操作①からあらためて行ってください。世界各地の時差については「(5-7) 都市と時差の比較表」を参照ください。

#### 5-4. 日付けの合わせかた〈8F58の場合〉

この時計の日付けの修正は、時差修正の方法で時針を2周させて1日分の日付け修正を行います。  
(「(5-6) 時差修正の使い方」を参照ください。)

時針を時計回りに2周させると「日を送る」こととなり、逆回転させると「日を戻す」ことができます。

- ①ネジロックモデルは、リュウズを左に回してネジロックをゆるめてください。
- ②リュウズを1段目まで引き出してください。
- ③リュウズを回転させ時針を2周させる毎に、日付けが「1日分」修正できます。

※日付けはどちらの方向で修正してもかまいません。日付け修正が少ない方向を選択してください。



※リュウズの回転は静かに行ってください。

※2周単位で時針を回転させると、時刻を変えることなく日付の修正ができます。

※時針を修正している時、その他の針が少し動きますが故障ではありません。

- ④日付け合わせが終わったら、時針の位置を再度確認してリュウズを押し込んでください。  
ネジロックモデルは、さらに押しつけながら右に回し、リュウズが止まるまでネジ込んでください。

### 5-5. カレンダー（うるう年からの年数・月・日付）の確認のしかた

- ・リュウズ操作により、うるう年からの年数・月・現在日の確認ができます。
- ・日付け合わせ後のカレンダーの確認ができます。

※「電池寿命切れ予告機能（2秒運針）」の状態の場合は、カレンダーの確認ができませんので、ご注意ください。

- リュウズを1段目に引き出し、0段目に押し込む動作を1秒以内で行います。

（リュウズを2段目に引き出した場合は、確認できません。）

- ・次の順序で確認ができます。

1. 年 → 2. 月 → 3. 現在日

| 秒針の動き  | 5秒分針が進む  | 5秒分の進みが2回 | 5秒分の進みが3回 | 5秒分の進みが4回 |
|--------|----------|-----------|-----------|-----------|
| うるう年から | うるう年の1年後 | うるう年の2年後  | うるう年の3年後  | うるう年      |
|        | 1997年    | 1998年     | 1999年     | 2000年     |
|        | 2001     | 2002      | 2003      | 2004      |
|        | 2005     | 2006      | 2007      | 2008      |
|        | 2009     | 2010      | 2011      | 2012      |
|        | ・        | ・         | ・         | ・         |
| 西暦     | ・        | ・         | ・         | ・         |
|        | ・        | ・         | ・         | ・         |
|        | 2085     | 2086      | 2087      | 2088      |
|        | 2089     | 2090      | 2091      | 2092      |
|        | 2093     | 2094      | 2095      | 2096      |
|        | 2097     | 2098      | 2099      | —         |

1. 年 表示は、うるう年からの年数を、秒針の動きで表示します。  
連続した5秒分の動きを1年として何回進むかで表示します。

※最初の秒針の位置を覚えておいてください。

※たとえば、秒針が5秒分の進みを4回繰り返したときは、うるう年であることを表わします。

秒針 5秒分の進み

うるう年の1年後

うるう年の2年後

うるう年の3年後

うるう年

2. 月表示は、秒針が停止し、日付が進んで、現在月を5秒間表示します。

3. 月表示後、現在日の表示に戻ります。

※月と日と同じ場合は、日付が1日進み、1日戻ります。

4. その後、秒針が追いかけて通常の秒運針に戻ります。

例：1998年11月1日

1998年は、うるう年から2年後のため、秒針は5秒分の進みを2回行います。その後、カレンダーの数字が、「1」より、「11」に変わり5秒間月表示します。次に、「11」より「1」に変わり日付を表示し、秒針が追いかけて通常の秒運針に戻ります。

秒針

秒針

5秒分の進み  
うるう年の1年後

うるう年の2年後

日付 (1日)

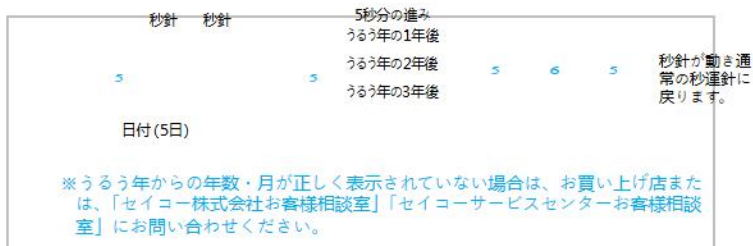
月を表示  
(5秒)

日を表示

秒針が動き通常の運針にもどります。

例：1999年5月5日

1999年は、うるう年から3年後のため、秒針は5秒分の進みを3回行います。その後、カレンダーの数字が、1つ進み「6」を表示後、直ぐ1つ戻り現在の日付「5」を表示し、日付と月が同じであることを表わします。次に秒針が追いかけて通常の秒運針に戻ります。



## 5-6. 時差修正の使いかた〈8F58の場合〉

- ・海外旅行等で時差のある地域へ移動した場合、時計を止めることなく現地の時刻に合わせられます。
  - ・この修正は、日付けに連動していますので、時差の修正を行うと現地の日付けを表示させることができます。
- 時差の求めかた
- ・時差修正の前に、修正する「時差」を正確に知っておくことが重要です。
  - ・単に時計の表示を現地の時刻に合わせるだけでは、午前と午後および日付けが合わない場合もあるので正しい時差を求める必要があります。

### 〈計算方法〉

A地域にいる人がB地域へ移動したとすると、それぞれの地域のGMTからの時差の数値を使い計算します。(「(4) 都市と時差の比較表」参照)

- ・A地域のGMTからの時差を〔a〕、B地域のGMTからの時差を〔b〕とした場合、修正すべき時差は、〔b〕 - 〔a〕で求められます。

〈例〉日本からアメリカのニューヨークへ移動した場合、

A地域日本(東京)のGMTからの時差〔a〕 = (+9)

B地域ニューヨークの " " "〔b〕 = (-5)

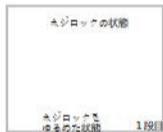
◎修正すべき時差 = 〔b〕 - 〔a〕 = (-5) - (+9) = (-14) 時間

※サマータイムを使う地域では、GMTからの時差の数値を「+1」時間して計算します。

●時差修正のしかた

●時差の求めかたで計算した値などで時差修正します。

- ①ネジロックモデルは、リュウズを左に回してネジロックをゆるめてください。
- ②リュウズを1段目まで引き出してください。
- ③リュウズを回転して時差修正をします。1時間単位の進みかたを確認しながら回してください。



右回転：マイナス時差修正

左回転：プラス時差修正

※時差修正はどちらの方向で修正してもかまいません。時差修正が少ない方向を選択して下さい。

※時差修正をするときには、午前・午後および日付け等にご注意ください。

※リュウズの回転は静かに行ってください。

※時針を修正している時、その他の針が少し動きますが、故障ではありません。

※右回転で時差修正をしてAM0:00を通過してPM9:00~AM0:00付近に合わせる場合は一旦PM8:00まで戻し合わせてください。

④時差修正が終わったら、リュウズを押し込んで下さい。

ネジロックモデルは、さらに押しつけながら右に回し、リュウズが止まるまでネジ込んでください。

## 5-7. 都市と時差の比較表

GMTは、グリニッチ標準時を示しています。+はGMTより進み、-は遅れを示しています。

| GMTとの時差 | 都市名            | 都市名           | サマータイム有 | その他の都市（●印はサマータイム有）                 |
|---------|----------------|---------------|---------|------------------------------------|
| 0       | LONDON         | ロンドン          | ●       | カサブランカ、ダカール                        |
| +1      | PARIS          | パリ            | ●       | ●アムステルダム、●フランクフルト<br>●ベルリン         |
|         | ROME           | ローマ           |         |                                    |
| +2      | CAIRO          | カイロ           | ●       | ●アテネ、●イスタンブール、●キエフ、<br>ケープタウン、トリポリ |
| +3      | MOSCOW         | モスクワ          | ●       |                                    |
| +4      | DUBAI          | デュバイ          |         |                                    |
| +5      | KARACHI        | カラチ           |         |                                    |
| +6      | DACCA          | ダッカ           |         |                                    |
| +7      | BANGKOK        | バンコック         |         |                                    |
| +8      | HONG KONG      | 香港            |         | ブノンペン、ジャカルタ                        |
| +9      | TOKYO          | 東京            |         | マニラ、北京、シンガポール                      |
| +10     | SYDNEY         | シドニー          | ●       | ソウル、平壤                             |
| +11     | NOUMEA         | ヌメア（ニューカレドニア） |         | グアム島、●ハバロフスク                       |
| +12     | WELLINGTON     | ウェリントン        | ●       | ソロモン諸島                             |
| -11     | MIDWAY         | ミッドウェイ        |         | フィジー諸島、●オークランド                     |
| -10     | HONOLULU       | ホノルル          |         |                                    |
| -9      | ANCHORAGE      | アンカレッジ        | ●       |                                    |
| -8      | LOS ANGELES    | ロサンゼルス        | ●       | ●サンフランシスコ、●バンクーバー、<br>●ドーンソン（カナダ）  |
| -7      | DENVER         | デンバー          | ●       | ●エドモント（カナダ）                        |
| -6      | CHICAGO        | シカゴ           | ●       | ●メキシコシティ                           |
| -5      | NEW YORK       | ニューヨーク        | ●       | ●ワシントンDC、●モントリオール                  |
| -4      | CARACAS        | カラカス          | ●       | ●サンチャゴ（チリ）                         |
| -3      | RIO DE JANEIRO | リオデジャネイロ      | ●       | ●ブエノスアイレス                          |

※) サマータイムの各都市における採用は、年毎に変わる可能性がありますのでご注意ください。  
この表は1998年8月時点の採用状況に基づいて作成してあります。

## 5-8. 回転ベゼルの使いかた

下図は10時10分潜水開始（位置）後、30分経過したことを示しています。



経過時間

### ●経過時間の測定

回転ベゼルを動かし、マークを分針に合わせてください。ある時間が経過した後に、分針の指す回転ベゼル上の目盛りを読めば、その時までの経過時間がわかります。

※回転ベゼルは、時計と逆まわりしか回転しませんので、無理に時計と同じ方向に回さないでください。

## 6. 使用上のご注意とお手入れの方法

### 注意

#### 日常のお手入れ

- ・ダイビングなど海水中での使用のあとは、真水で洗い、よくふいてください。
- ・ケースやバンドは肌着類と同様に直接肌に接しています。汚れたままにしておくとサビて衣類の袖口を汚したり、かぶれの原因になることがありますので常に清潔にしてください。
- ・時計を外したときは、柔らかい布などで汗や水分をふきとるだけで汚れやケース、バンド、及びパッキンの寿命が違ってきます。
- ・回転ベゼル下に汚れ等がたまり回転が重くなることがありますので、清潔にしてご使用ください。

#### 〈金属バンド〉

- ・金属バンドは、ときどき柔らかい歯ブラシなどを使い、部分洗いなどのお手入れをお願いします。その際に、非防水の時計の場合には時計本体に水がかからないようにご注意ください。

#### 〈軟質プラスチックバンド〉

- ・ウレタンバンド等軟質プラスチックでできているバンドは、汚れがひどいときは石けん水で洗ってください。ただし、化学製品ですので溶剤によって変質することがあります。通常数年のご使用で材質が硬化してきたり、色があせたりする場合がありますので、その際は新しいバンドに交換してください。

#### かぶれやアレルギーについて

- ・バンドは多少余裕を持たせ、通気性をよくしてご使用ください。
- ・かぶれやすい体質の人や体調によっては、皮膚にかゆみやかぶれをきたすことがあります。
- ・かぶれの原因として考えられますのは、
  1. 金属・皮革に対するアレルギー
  2. 時計本体及びバンドに発生した錆、汚れ、付着した汗等です。
- ・万一肌などに異常を生じた場合は、直ちに使用を中止し、医師にご相談ください。

#### 入浴について

10気圧以上の防水の場合、時計をつけたまま入浴してもかまいませんが下記のことにご注意して下さい。

- ・時計に、石けんやシャンプーがついた状態で、リュウズ操作やボタン操作を行わないでください。(防水機能が維持できなくなることがあります)
- ・温水で時計が温まると、多少の進み、遅れを生ずることがあります。ただし、常温にもどれば精度はもとにもどります。

#### ●その他、携帯上ご注意いただきたいこと

- ・バンドの着脱の際に中留めなどで爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。
- ・転倒時や他人との接触などにおいて、時計の装着が原因で思わぬケガを負う場合がありますので、ご注意ください。
- ・特に乳幼児を抱いたりする場合は、時計に触れることでケガを負ったり、アレルギーによるかぶれをおこしたりする場合がありますので、十分にご注意ください。

## 注意

・ 提げ時計やペンダント時計の場合、ひもやチェーンによって大切な衣類や手・首などを傷つける事がありますので、ご注意ください。

### ●保管について

- ・ 「 $-10^{\circ}\text{C}$ ~ $+60^{\circ}\text{C}$ からはずれた温度」下で長時間放置すると、機能が低下したり、停止する場合があります。  
※この時計は、気温 $5^{\circ}\text{C}$ ~ $35^{\circ}\text{C}$ において腕につけた時に安定した精度を得られるように調整してあります。  
よって、温度によって多少の進み遅れが生ずることがありますが、常温にもどれば元の精度にもどります。
  - ・ 磁気や静電気の影響があるところに放置しないでください。
  - ・ 強い振動のあるところに放置しないでください。
  - ・ 極端にホコリの多いところに放置しないでください。
  - ・ 薬品の蒸気が発散しているところや薬品にふれるところに放置しないでください。  
(薬品の例: ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、およびそれらを含むもの=ガソリン、マニキュア、化粧品などのスプレー液、クリーナー剤、トイレ用洗剤、接着剤など=水銀、ヨウ素系消毒液など)
  - ・ 温泉や、防虫剤の入った引き出しなど特殊な環境に放置しないでください。
- ### ●定期点検について
- ・ ながくご愛用いただくために、2~3年に1度程度の点検調整をおすすめします。定期的な点

検により目に見えない部分が原因となる損傷を未然に防ぎ、より安心してご使用いただけます。

点検の結果によっては調整・修理を必要とする場合があります。

- 部品（電池）交換の時は、「セイコー純正部品（電池）」をご指定ください。
- ・定期点検の際にはパッキンやバネ棒の交換もあわせてご依頼ください。

## 7. うるう秒について

普通1日は標準時間で86,400秒ですが、86,401秒になることがあります。これは、地球の自転の誤差による時刻のくるいを補正するもので、これを「うるう秒」と呼びます。「うるう秒」が実施されますと、時計が標準時間に比較して1秒進みになりますので、時刻を修正してください。「うるう秒」は、世界各国の天文台の観測情報にもとづき、英国のグリニッジ天文台を中心として全世界いっせいに実施されます。グリニッジ標準時では、「12月31日」または「6月30日」の午後11:59~午前0:00が61秒間となります。

日本の場合、時差換算をすると、うるう秒がおこなわれる日は「1月1日」または「7月1日」で、日本時間の午前8:59から午前9:00の60秒間が61秒間となりますが、おこなわれないこともありますので新聞等でご確認ください。

## 8. ルミブライトについて

【お買い上げの時計がルミブライトつきの場合】

「ルミブライト」は、放射能等の有害物質を全く含んでいない、環境・人に安全な蓄光（蓄えた光を放出する）物質です。

ルミブライトは、太陽光や照明器具の明りを短時間（約10分間：500ルクス以上）で吸収して蓄え、暗い中で長時間（約5～8時間）光を放つ夜光です。

なお、蓄えた光を発光させていますので輝度（明るさ）は時間が経つに従ってだんだん弱まってきます。また、光を蓄える際のまわりの明るさや時計との距離、光の吸収度合により、光を放つ時間には多少の誤差が生じることがあります。特に暗い環境での潜水の際は、光が十分に吸収されていないと水中で発光しない場合があります。最低でも上記条件の光をあてるか、水中ライトを併用して潜水される様、十分ご注意ください。

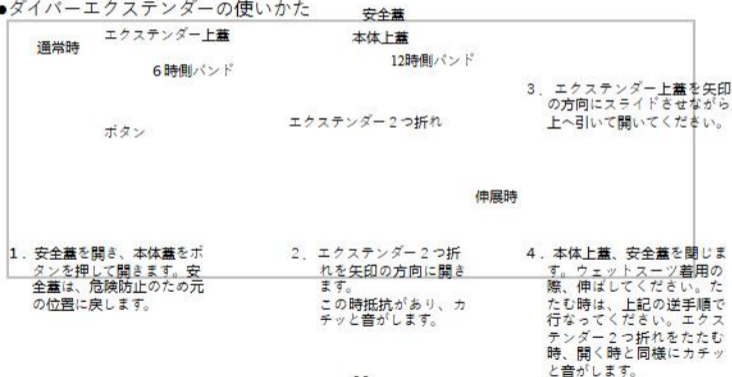
〈照度データ〉（目安値）

- A. 太陽光〔晴天〕100,000ルクス〔曇天〕10,000ルクス
- B. 屋内（昼間窓側）〔晴天〕3,000ルクス以上〔曇天〕1,000ルクス～3,000ルクス〔雨天〕1,000ルクス以下
- C. 照明（白色蛍光灯40Wの下で）〔1m〕1,000ルクス〔3m〕500ルクス（通常室内レベル）〔4m〕250ルクス

## 9. バンドの伸展機構について

メタルバンドで、ダイバーエクステンダーまたはダイバーアジャスター機構がついている場合、下記をご参照ください。ウェットスーツの上に着用する際に便利な機構です。

### ●ダイバーエクステンダーの使いかた



●ダイバーアジャスターの使いかた

- ①安全ぶたを90度程度に起こします。
- ②安全ぶたをさらに20度程度倒します。

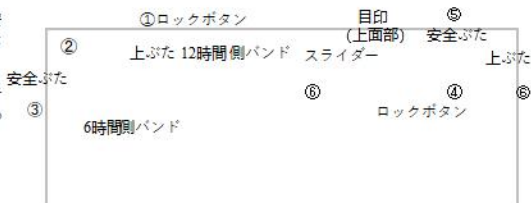
多少抵抗がありますが、軽い力で倒れますので力を入れ過ぎないようにご注意ください。

- ③②の動作の後、6時側のバンドをバンドカーブに沿う方向に（曲線を描くように）引きます。この際も軽い力で引けますので、力を入れ過ぎないようにしてください。スライダーは約30mm伸びますが、上面の「目印」以上には引き出さないようにご注意ください。

- ④矢印のロックボタンを押してから、上ぶたを持ち上げ、バックルを開放します。この状態で手首につけてください。

- ⑤手首についたら上ぶた、安全ぶたの順に閉じてください。

- ⑥時計をつけていない方の手で、バンドを適当なところまで縮めてください。



## 10. 電池についてのお願いとご注意

### 警告

1. お客様は、時計から電池を取り出さないでください。
2. やむを得ずお客様が時計から電池を取り出した場合は、電池は直ちに幼児の手が届かないところに保管してください。
3. 万一飲み込んだ場合は、体に害があるためただちに医師とご相談ください。

### 注意

1. 破裂、発熱、発火などのおそれがありますので、電池を絶対にショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。
2. この時計に使用している電池は、充電式ではないので、充電すると液漏れ、破損の恐れがあります。絶対に充電しないでください。
3. 「常温（5℃～35℃）からはずれた温度」下で長時間放置すると、電池寿命が短くなることがあります。

## 電池について

### (1) 電池寿命

この時計は、新しい正常な電池を組み込んだ場合、その後約8年間作動します。

※この時計の電池寿命は、約8年となっております。

これは時計が正常な状態での使用と保管がされることを条件にしております。この条件以外では電池寿命に満たないうちに電池寿命切れとなる場合がありますので、ご注意ください。

条件以外とは、1. リュウズ1段、および2段引きの状態での放置。

2. カレンダーを頻繁に確認した場合。

3. 「常温（5℃～35℃）からはずれた温度」下で長時間放置。

### (2) 最初の電池

お買い上げの時計にあらかじめ組み込まれている電池は、機能・性能をみるためのモニター用電池です。お買い上げ後、上記の年数に満たないうちに電池寿命が切れることがありますのでご了承ください。

### (3) 電池寿命切れ予告機能

秒針が一度に2目盛送る（2秒運針）ようになりますと、約2週間で時計が止まる可能

性があります。お早めにお買い上げ店で電池交換をご依頼ください。

※ただし、この場合でも時刻は正常に動きます。日付は切り替わりませんが、故障ではありません。

※安全上、この状態でダイビングに使用することはできません。

※尚、長い航海の際には、電池交換の時期を考慮して事前に電池交換をしてください。

※電池容量が残っている場合でも、電池寿命が近づいて来ると低温状態に放置された場合など、一時的に電池性能が劣化し、電池寿命切れ予告状態になることがあります。

この場合、2秒運針となり、日付は切り替わりませんが、常温（5～35℃）に戻り、電池性能が正常に戻れば、翌日には通常（一秒毎）の運針に戻り、日付も遅れ分を補正し正常に戻ります。常温に戻っても2秒運針のままで、日付も送らない場合は、電池寿命切れが間近ですので、お早めに電池交換をご依頼ください。

#### （4）電池交換

ダイバースウォッチは潜水に使用されるため、電池交換にあたっては厳重なチェックが必要です。

電池交換の受付はお買い上げ店でいたしますが、交換作業は全てセイコーサービスセンターでおこないます。

時計は、お買い上げ店からセイコーサービスセンターに送付され、電池交換と同時に防

水性、パッキン検査・交換などを実施いたしますので、10日前後のお預かり期間と、電池交換費用の他に費用がかかる場合がございます。

①パーペチュアルカレンダーは、内蔵の電子回路でカレンダーデータを記録し、現在が何日であるかを判断し、日付表示をコントロールすることより動作しています。

電池が切れても、カレンダーデータは予備電源により保持されており、通常は、電池交換してもカレンダーデータを修正する必要はありません。電池寿命切れのまま長時間放置しますと、予備電源が消耗することがありますので、2秒運針中に電池交換をすることをおすすめします。

②電池交換は、必ずお買い上げ店で「セイコー純正SB電池」とご指定の上、ご用命ください。

③電池寿命切れの電池をそのまま長時間放置しますと、漏液などで故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

④電池交換は、保証期間内でも有料となります。

※電池交換をされたときは、カレンダーの確認をお願いします。

「5-5. カレンダー（うるう年からの年数・月・日付）の確認のしかた」の項を参照ください。

## 11. 電池交換時期のめやす

第1回目の電池交換時期のめやすは、時計の裏ぶたに右の図のように刻印がしてありますのでそのマークの位置を参考にして電池交換してください。

2回目以降の電池交換時期も、電池交換の際にSEIKO（セイコー株）にて、右図のようにマークを刻印してお知らせします。



上の図は、電池交換時期が2007年1月～6月であることを示しています。

## 12. こんな時には

| 現象               | 考えられる原因                                 | このようにしてください  |
|------------------|---|--|
| 時計が止まった。         | 電池の容量がなくなった。                            | 直ちに電池交換をお買い上げ店にご依頼ください。  |
| 時計が一時的に進む／遅れる。   | 暑いところにまたは、寒いところに放置した。                   | 常温になれば、元の精度に戻ります。時刻を合わせ直してください。この時計は気温5℃～35℃で腕につけたときに安定した精度が得られるように調整されています。 |
|                  | 磁気を発生するもののそばに置いた。                       | 磁気から遠ざけると、元の精度に戻ります。時刻を合わせ直してください。元に戻らない場合は、お買い上げ店にご相談ください。                  |
|                  | 落としたり強くぶついたり、または激しいスポーツをした。強い振動がくわえられた。 | 時刻を合わせ直してください。元に戻らない場合は、お買い上げ店にご依頼ください。                                      |
| 秒針が2秒運針をしている。    | 電池寿命切れが近づいた。                            | 直ちに電池交換をお買い上げ店にご依頼ください。  |
| 日付が合わない。         | リュウズを回して日付を変えてしまった。                     | リュウズを回して日付を今日に合わせてください。  |
|                  | 秒針が2秒運針を始めた。                            | 直ちに電池交換をお買い上げ店にご依頼ください。  |
|                  | 電池交換後、カレンダーの合わせ直しがおこなわれていない。            | 電池交換したお店で、カレンダーの合わせ直しをご依頼ください。   |
| ガラスのくもりが消えない。    | バッキンの劣化などにより時計内部に水分が入った。                | お買い上げ店にご相談ください。  |
| 回転ベゼルがスムーズに回らない。 | 砂やゴミが回転ベゼルのすきまに入ってしまった。                 | 水洗いしても良くならない場合は、お買い上げ店にご相談ください。  |

※その他の現象は、お買い上げ店にご相談ください。

### 13. アフターサービスについて

- ・万一故障した場合には、お買い上げ店にお持ちください。保証期間内の場合は保証書を添えてください。
- ・修理期間経過後の修理およびこの時計についてのご相談はお買い上げ店でうけたまわっております。なお、ご不明の点は「セイコー株式会社お客様相談室」「セイコーサービスセンターお客様相談係」にお問い合わせください。
- ・保証内容は保証書に記載したとおりですので、よくお読みいただき大切に保管してください。

### 14. 補修用性能部品について

- ・この時計の補修用性能部品の保有期間は通常7年間の基準としています。  
正常な使用であれば、この期間中は原則として修理可能です。  
(補修用性能部品とは、時計の機能を維持するのに不可欠な修理用部品です。)
- ・修理可能な期間はご使用条件によりいちじるしく異なり、精度が元通りにならない場合もありますので、修理ご依頼の際にお買い上げ店とよくご相談ください。
- ・修理のとき、ケース・文字板・針・ガラス・バンドなどは一部代替品を使用させていただくことがありますのでご了承ください。

## 15. 製品仕様

- (1) 水晶振動数 .....196,608Hz (Hz = 1秒間の振動数)
- (2) 精度 .....年差±20秒 (気温 5°C~35°Cにおいて、1日12時間程度腕につけた場合)  
※但し、携帯の条件によっては、月間4秒程度までは、遅れる (進む) 場合があります。
- (3) 作動温度範囲 .....-10°C~+60°C
- (4) 駆動方式 .....8F35: ステップモーター式 (時・分・秒針)  
・超音波モータ (日付)  
8F58: ステップモーター式 (24時・時・分・秒針)  
・超音波モータ (日付)
- (5) 秒針停止装置
- (6) その他の機能 .....8F58: 時差修正 (日付連動) 機能
- (7) 使用電池 .....リチウム電池 SB-T19 1個
- (8) 電池寿命切れ予告機能
- (9) 電池寿命 .....約8年
- (10) 電子回路 .....発振・分周・駆動回路 (C-MOS-LSI 1個)
- (11) 耐磁性能 .....JIS 1種耐磁時計 (4800A/m (60ガウス))  
※上記の製品仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。